

# ごあいさつ



札幌市農業協同組合  
代表理事組合長

## 軽部 幹夫

日頃、みなさまには格別のご愛顧をいただき厚くお礼申し上げます。

JAさっぽろは積極的な情報開示を通じて経営の透明性を高め、当JAに対するご理解を一層深めていただくために、令和5年度の事業内容に関するディスクロージャー資料『JAさっぽろディスクロージャー2024』を開示いたしました。みなさまが取引金融機関を選択する際の判断材料として、また、当JAの地域貢献活動への取り組み、業績の推移などをご理解いただくための一助として、ご一読いただければ幸いです。

### ○農業とJAを取り巻く情勢

終わらない国際紛争や過度な円安の進行により、エネルギーや食糧など生活必需品の価格上昇が続いております。同様に肥料、飼料、燃油など農畜産物の生産に必要な資材の価格も高止まりしており、日本を支える基盤である「農業」の弱体化に拍車をかける危機的な状況が続く中、農業者のみなさまは食料の安定的供給のため懸命に努力しております。

このような情勢の下、日本銀行がマイナス金利の解除に踏み切った事で、「金利のある世界」が久々に訪れたことをJA経営の好機と捉え、安定的収益の確保を通じてJAが地域農業の振興により一層貢献することが求められております。

### ○事業実績の状況

管内の農業は、平均的な降雪量に加えて3月の高温傾向で例年より早い融雪を迎え、播種・定植は順調に推移しましたが、春先の少雨や夏の記録的な猛暑など作物の生育に厳しい気候が続いたことにより、一部作物では出荷量の減少および品質の低下等の影響を受けました。

信用・共済・相談事業につきましては、令和5年10月にJAさっぽろとJAいしかりが合併した効果を発揮する事で、事業利益では計画を大きく上回る成果を得ることができました。これもひとえに組合員みなさまのご利用、ご協力の賜物と感謝申し上げます。

### ○みなさまへのメッセージ

当JAでは、様々な環境の変化に柔軟に対応できる組織づくりのため、令和5年10月1日をもってJAいしかりと合併し、新生「JAさっぽろ」として新たな歩みを始めております。地域農業を支えるJAの経営持続性を強化し、今まで培ってきた札幌・石狩両地域の農業振興に関する知識と経験を結集し、更なる発展に取り組んでまいります。

今後も多様化する価値観やニーズに応え、組合員と地域のみなさまに必要とされる存在を目指してまいりますので、みなさまのより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年7月